



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2018

No. 12 (平成30年7月 19 日発行)

東京海洋大学「海の日」記念行事

高大連携グローバルワークショップ

INSPIRE2018

海の日インスパイア



新井康平くんのチーム

荒井真優さんのチーム

2018年7月16日(海の日)、**東京海洋大学**(品川キャンパス)で、今年で2回目となる高大連携グローバルワークショップ「海の日INSPIRE」が開催されました。

今年度は、高校生2名と海洋大の1年生2名の**4名がチーム**となり、当日発表されたグローバルな課題への解決策を**10分間で発表**しました。各高校から参加した2名の生徒は、それぞれ別のチームに分かれ、全部で5チームが編成されました。本校からは、高校2年生の**新井康平**さんと**荒井真優**さんの2名が参加しました。

当日は、まず、10:30から特別講師(行政書士の金子先生)により、「**外国人と共に生きる社会をどう描くか**」という講演があり、そのお話を受けて以下の課題が出されました。各チームの発表までの準備の時間は2時間。提言の内容はもとより、効果的にプレゼンするには、チームワークも重要です。

課題

- ① 18歳を過ぎた外国人の子どもが日本で自立した生活を営むことが可能となるような対策を考えよ。
- ② 外国人の子どもが早期に日本の教育を受けるにあたり、どのような問題があるかを考え、それらを解決するために、有効と思われる法や社会の仕組みを考えよ。

参加校

文京学院大学女子高等学校 (SGH アソシエイト校)
 千葉県立八千代高等学校
 千葉県立成田国際高等学校 (SGH 校)
 松戸市立松戸高等学校 (SGH アソシエイト校)
 栃木県立佐野高等学校 (SGH 校)
 以上の5校から2名ずつ参加

発表は、14:30から始まりました。課題は非常に難易度が高く、どんな発表になるのか心配でしたが、5チームともそれぞれ違う視点から、解決策を提言できていたことには驚かされました。

例えば、②の課題では、言葉の壁、文化の壁へのサポートや受け入れ先とのコーディネートなどを専門的に行う**ISE** (International Support Educator) という国家資格の創設の提言など、特別審査員の先生方もびっくりのプレゼンが繰り広げられました。その中で、本校生の2名も大活躍してくれました。

〈新井さんと荒井さんの感想〉

- ・一つのテーマについて、5チームが取り組んだことで、自分にはない視点や考え方がることがよくわかった。
- ・4名のチームのメンバーで協働して提言をまとめる体験はとても刺激的だった。大学生たちと関わることが出来てとても良かった。

